

「ごみ」から

「資源」へ

コンポストで 生ごみを減量・堆肥化

「平成22年度コンポストモニター モデル事業の結果」

この事業は、地区を限定し、希望する全世帯にコンポスト（家庭から出る生ごみを各家庭で手軽に堆肥にできる容器）を無料配布して家庭から出る生ごみの減量や堆肥化などの効果をモニターから報告していただき、今後の生ごみ対策について検証するために実施しました。

- 実施地区 新穂地区
(対象世帯数 1704世帯)
 - 実施期間 平成22年6月1日～
11月30日(6か月間)
 - モデル事業参加世帯数 450世帯
(参加割合 26・4%)
 - モニター世帯数 45世帯
- モニターには、生ごみの投入量や堆肥化の状況を毎月報告していただきました。



「モニターからいただいた主な意見」

良かった点

- ・堆肥場からコンポストに代えて、ラス・猫・狸など被害が減った。
- ・生ごみが堆肥化し、肥料として利用した。
- ・生ごみに堆肥化した土を被せ、堆肥化が促進された。
- ・生ごみを毎日投入でき、可燃ごみが少なくなった。
- ・堆肥化が進み、生ごみが4分の1くらいになった。

悪かった点

- ・水分管理ができず、虫が発生した。
- ・分別・運搬作業を頻繁にしなければならぬため、面倒。
- ・芋や、大根などの野菜くずが堆肥化しにくい。

- ・小バエが飛び悪臭がした。雨が多し時に水がたまった。

堆肥化に向けた改善策等

- ・EMぼかしを使用して、悪臭が無くなった。
- ・木くずを多めに入れて、水分を吸収したら悪臭が無くなり、堆肥化が進んだ。
- ・コンポスター2基を交互に使用し、堆肥化がうまくいった。
- ・ある程度堆肥化したら、攪拌かくはんしてやると堆肥化が進む。
- ・天気の良い日は、フタを開けて風通しをよくしてやる。



モデル事業による結果と 生ごみ減量効果

一人1日当たりの生ごみの排出量	205.5g
コンポスト利用による一人1日当たりの生ごみの減少量	178.0g
可燃ごみに占める生ごみの割合	34.1%
モニター45世帯の生ごみ減少量 (年間見込み)	8,874 kg
モデル事業参加450世帯の生ごみ減少量 (年間見込み)	78,289 kg

新穂地区における 可燃ごみ・生ごみの前年度比較

単位:(トン)

可燃ごみ・生ごみ	H21年度	H22年度	増減
可燃ごみ発生量	863.2	840.7	△ 22.5
生ごみ排出量	294.1	208.1	△ 86.0

※H22年度は可燃ごみの発生量の見込みから算出した数値です。

ごみ処理機器の購入費を 補助します

市では、生ごみの堆肥化とごみの減量を推進するため、一般家庭を対象として、生ごみ処理機器の購入費を補助しています。(購入費の2分の1以内)申請方法その他詳細は機器の購入前に窓口までお問い合わせください。

生ごみ処理機器

- ・コンポスト
1基4000円上限、2基まで
- ・EM処理機器
1基4000円上限、2基まで
- ・電動式
1台3万円上限

お問い合わせ

市役所環境対策課 ☎ 63-3113

「古紙」の分別にご協力を!

古紙の分別についてアンケート調査を行ったところ、「古紙を分別している」と回答した方は全体の6割で、ペットボトルや廃プラスチックと比べるとあまり分別がされていません。

古紙は、分別しなければ「燃えるごみ」、分別すれば「資源」となり、みなさんの少しの努力で「ごみ」から「資源」に変わります。

「ごみの減量化」と「リサイクル推進」にご協力をお願いします。

